

神奈川県内19市の一般廃棄物処理状況

令和3年度1人1日当たりの排出量(g/日・人)

生活系ごみ(資源・ごみ)

順位	市名	排出量	
1	海老名市 57		
2	大和市	575	
3	座間市	598	
4	横浜市	607	
5	川崎市	611	
6	藤沢市	631	
7	平塚市	637	
8	相模原市	639	
9	厚木市	640	
10	綾瀬市	653	

家庭系ごみ(資源を除く)

順位	市名	排出量	
1	海老名市	367	
2	鎌倉市 37-		
3	横浜市	413	
4	逗子市	416	
5	座間市	418	
6	大和市	421	
7	厚木市	426	
8	藤沢市	439	
9	川崎市 454		
10	三浦市	469	

事業系ごみ

順位	市名排出量		
1	逗子市	84	
2	座間市	96	
3	南足柄市	100	
4	茅ヶ崎市	115	
5	綾瀬市	125	
6	伊勢原市	127	
7	秦野市 13		
8	横須賀市	156	
9	海老名市 160		
10	川崎市 17:		
:	:	:	
17	厚木市	202	

ごみ減量・資源化のキーワードは3つのRと3つのキリ





出てくるごみを できるだけ 減らしてね!

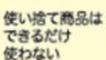


レジ袋をもらわずに エコバッグでお買い物

過剰包装は断る



量り売りで必要量 だけお買い物







使える物は 繰り返して使ってね!



修理できるものは 修理して使う



話替え商品 の積極的な



まだ使える! フリーマーケットや リサイクルショップの 活用



資源として再生利用 できるように分別してね!



お店の店頭回収の 利用







(B) PO #J

使いキツ

食材は必要な量だけ 買って、使い切ってね!



冷蔵庫をチェック!







食べ物を大切にして 残さず食べてね!





必要な量だけ作って 残さず食べる

世界の中には 満足に食べられない 人々もたくさん います

水井ツ



野菜くずは できるだけ ぬらさずに…

生ごみの80%は水分だよ! しっかり水キリをしてから もえるごみに出してね!

捨てる前にひと絞り!

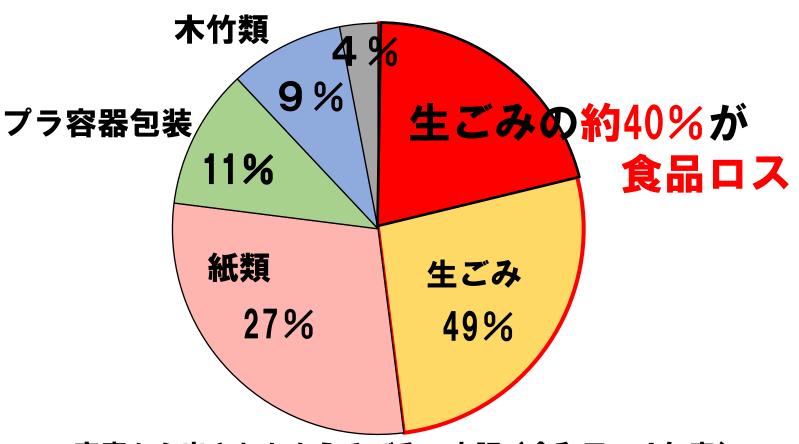




一歩進んで… 乾燥させて!

市内の家庭から出る食品ロスって…どのくらい?

その他(ペットボトルなど)



家庭から出されたもえるごみの内訳(令和元~4年度)

「厚木市食品ロス削減推進計画」 令和5年3月策定

家庭系ごみに対する取組

- 1 家庭用生ごみ処理機購入費 補助金
- ・家庭から出る生ごみの減量化、資源化を推進する。
- •補助率:5分の4(限度額:20,000円)

2 3R推進月間の推進

10月の「リデュース・リユース・リサイクル推進月間(3R推進月間)」に、ごみ減量及びリサイクルに関する懸垂幕、横断幕の掲示を実施し、3Rに対する意識の高揚を図る。

年度	補助台数
平成30年度	133台
令和元年度	50台
令和2年度	223台
令和3年度	174台
令和4年度	216台

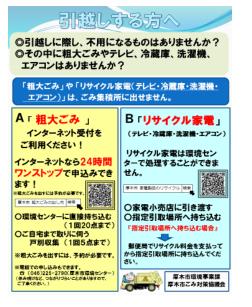




3 ごみ減量化・資源化に向けた周知・啓発の実施

令和4年度

- (1)「広報あつぎ」での周知・啓発
- •6月1日号環境月間
- ・8月1日号家庭でできる生ごみ減量
- ·10月1日号3R推進月間
- (2)ホームページでの周知 令和5年1月から、粗大ごみの申込みを24時間インターネットで予約できるシステムを導入
- (3) 分別マナー向上のための啓発チラシ の配布**292箇所1,192冊**





(4) 自治会未加入世帯などを含む 全戸にリーフレットをポスティング ごみの減量化・資源化へ向け食品ロス の削減や生ごみ処理機の補助制度等に ついての周知、啓発 配布世帯数103,964世帯



4 環境教育、体験学習

(1)小・中学校における食品ロス削減・食品リサイクル環境学習講座

令和4年度9校 小学校8校646人、中学校1校130人

(2)ごみ減量リサイクルポスターを募集 応募数対象者市内在住の小・中学生888点



市長賞 小学生低学年の部



市長賞 小学生高学年の部



市長賞 中学生の部



小・中学校で環境学習を実施

(3)リサイクル体験学習

- ・古紙を使った手すきはがき作り体験 参加者 市内在住の小学生25人
- ・リサイクル施設見学会 参加者25人

5 もえるごみの戸別収集モデル地区拡大 平成元年から実施・・・金田地区、まつかげ台地区、小野地区 令和4年10月から実施・・・厚木北地区、厚木南地区、依知南地区(金田地区除く)

6 資源化、リサイクルの取組

(1) せん定枝等資源化事業

年度	資源化量
平成30年度	2,278トン
令和元年度	2,580トン
令和2年度	2,873トン
令和3年度	2,730トン
令和4年度	3,118トン

(2) 廃食用油のリサイクル

年度	回収量
平成30年度	45,898kg
令和元年度	49,847kg
令和2年度	49,246kg
令和3年度	48,073kg
令和4年度	36,780kg

(3)製品プラスチック資源化モデル事業

年度	回収量
令和2年度	5,200kg
令和3年度	18,730kg
令和4年度	14,060kg

事業系ごみに対する取組

1 事業系ごみの内容物検査による 適正処理及び減量指導

検査実施日数	126日
展開検査実施回数	540回
受入拒否(持ち帰り)	21回
口頭指導	21回
文書指導	11回

- 2 多量排出事業者の指導
- ・多量排出事業者(年間36t以上)に「事業系一般廃棄物減量化・資源化等処理計画書」の提出を義務付け
- ・多量排出事業者(52事業所)へのごみ減量化・資源化促進状況の調査を実施。

3 食品廃棄物減量化·資源化事業 (1)公共施設食品廃棄物

年度	公共施設数	資源化量
令和2年度	10か所	81トン
令和3年度	38か所	216トン
令和4年度	39か所	255トン

- (2)事業系食品廃棄物
- 参加を募り令和4年10月から実施
- •13事業者が参加
- 令和4年度資源化量129トン
- (3)中学校5校に生ごみ処理機を設置(令和3年度)
- (4)事業系生ごみ処理機設置補助金を 令和4年度から開始 交付件数6件

厚木市が目指す姿【厚木市一般廃棄物処理基本計画】

基本目標

未来へつなげる循環型都市の実現 ~Go ごみニマムシティ あつぎ~

達成目標

家庭系ごみ 減量化目標

資源化目標

事業系ごみ 減量化目標 市民一人1日当たりの家庭系ごみを、 2002年度比で令和8(2026)年度までに半減

 $9 \, \mathrm{km}$

市民一人1日当たりの家庭系ごみを、2002年度比で 令和8(2026) 年度までに40%削減

市内で発生する事業系ごみを、 2002年度比で令和8(2026)年度までに半減